

第211回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成25年10月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,580	-1.03	-0.19	4,124	0.17	0.02
東部地区	14,241	-0.93	0.04	5,694	-0.50	0.08
西部地区	10,395	-1.32	-0.10	3,983	-0.17	-0.15
駅南地区	6,358	-0.64	-0.17	2,757	-0.57	-0.32
半田地区	3,692	0.43	0.21	1,395	0.21	0.14
横山地区	5,589	-1.93	0.05	1,945	-0.86	0.36
茨目・田尻地区	7,046	0.34	0.35	2,476	2.52	0.48
荒浜地区	5,032	-1.04	0.11	2,016	-0.34	0.14
その他地区	19,563	-1.92	-0.17	7,146	-0.41	-0.15
西山町地区	6,033	-1.63	-0.13	2,126	-1.07	-0.28
高柳町地区	1,696	-4.77	-0.46	791	-2.70	0.00
柏崎市計	89,225	-1.22	-0.04	34,453	-0.23	0.00
刈羽村	4,807	-1.19	-0.12	1,571	-0.25	0.25
小国地区（長岡市）	5,966	-1.89	-0.06	2,131	-0.46	-0.14
出雲崎町	4,872	-2.18	-0.22	1,773	-1.11	-0.28
合計	104,870	-1.30	-0.06	39,928	-0.28	-0.01

（資料出所：柏崎市、各市町村）

人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で1,107人、1.22%、刈羽村で58人、1.19%、小国地区(長岡市)で、115人、1.89%、出雲崎町で109人、2.18%とそれぞれ減少しており、全体では1,389人、1.30%の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で44人、0.04%、刈羽村で6人、0.12%、小国地区で4人、0.06%、出雲崎町で11人、0.22%減少しており、全体では65人、0.06%減少している。一方、世帯数は、前年同月比では、柏崎市で80世帯、0.23%、刈羽村で4世帯、0.25%、小国地区で10世帯、0.46%、出雲崎町で20世帯、1.11%減少したことから、全体では114世帯、0.28%の減少となった。また、前月比においては、刈羽村で4世帯、0.25%増加したが、柏崎市で2世帯、0.00%、小国地区で3世帯、0.14%、出雲崎町で5世帯、0.28%減少した結果、全体では6世帯、0.01%減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,521		10.86		4.46	
月間有効求職者	1,776		-7.83		-2.41	
月間有効求人倍率	0.86	1.06	0.15*	0.24*	0.06*	0.06*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,521人と前年同月比で149人、10.86%の増加となり、前月比でも65人、4.46%増加している。

月間有効求職者数は、1,776人と前年同月比で151人、7.83%減少し、前月比でも44人、2.41%減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.86倍と前年同月比で0.15ポイント上回り、前月比でも0.06ポイント上回っている。なお、県平均1.06倍と比べると0.20ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が670人と前年同月比で33人、5.18%増加し、月間新規求職者数が484人と前年同月比で72人、12.95%減少した結果、月間新規求人倍率は1.38倍となり、前年同月の1.15倍に比べて0.23ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	47	23	14	279	46
共 同 住 宅	2	0	2	11	-9
事 務 所	1	1	0	6	3
作 業 所・工 場	0	-1	0	4	-2
営 業 建 物	0	-3	-4	15	3
公 共 建 物	0	0	0	2	-1
そ の 他	12	2	-2	80	-13
合 計	62	22	10	397	27

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が62件と前年同月比で22件の増加となり、前月比でも10件増加している。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比23件の増加となり前月比でも14件増加している。共同住宅は前年同月比で増減なしとなっており、前月比では2件増となっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が50件となっており、また一般住宅(併用)47件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が16件(うち新築13件)、市外施工業者が31件(うち新築26件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,839	0.32	0.24	15,971	-2.28	-6.25
電 力	9,770	-3.31	-0.38	38,997	3.08	-4.28

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で212口、0.32%増加し、前月比でも、161口、0.24%増加している。一方、電力においては、前年同月比で335口、3.31%減少し、前月比でも38口、0.38%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で373kwh、2.28%減少し、前月比でも、1,065kwh、6.25%減少している。一方、電力においては、前年同月比で1,167kwh、3.08%増加し、前月比では、1,747kwh、4.28%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	687,914	15.83	10.52	696,442	0.77	-7.78
営 業 用	160,340	11.13	-17.75	117,072	-0.94	-10.71
工 業 用	785,028	26.66	-2.57	113,873	-4.07	-1.32
官 公 学 校 用	209,518	7.02	-24.46	79,647	1.38	-6.75
そ の 他				112	-30.86	72.30
合 計	1,842,800	18.60	-3.03	1,007,146	0.04	-7.37

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で289,091m³、18.60%増加し、前月比では57,712m³、3.03%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比はすべての用途で増加しており、前月比では、家庭用を除く用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で407m³、0.04%増加し、前月比では、80,143m³、7.37%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、家庭用、官公学校用を除く用途で減少、前月比では、その他を除く用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	93,895	1.62	3.36	98,443	2.65	4.40
西 山	44,607	0.74	5.47	40,635	1.15	3.16
米 山	23,531	4.70	1.65	21,098	0.42	-2.44
合 計	162,033	1.81	3.68	160,176	1.97	3.13

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で2,888台、1.81%増加しており、前月比でも5,757台、3.68%増加している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で3,101台、1.97%増加し、前月比でも、4,872台、3.13%増加している。

インター別で見ると、前年同月比では、すべてのインターの入口・出口で増加しており、前月比では、入口で、すべてのインターで増加しているが、出口では米山インターで減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	364,919	2.28	0.49	142,151	-1.31	-1.60
平 残	366,505	2.26	0.74	142,292	-1.09	-2.03

預金は、末残が前年同月比で8,144百万円、2.28%増加し、前月比でも、1,809百万円、0.49%増加している。また、平残においては、前年同月比で8,126百万円、2.26%増加し、前月比でも、2,708百万円、0.74%増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,887百万円、1.31%減少し、前月比でも2,324百万円、1.60%減少している。平残においては、前年同月比で1,582百万円、1.09%の減少となり、前月比でも、2,953百万円、2.03%の減少となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	25,573	-17.23	-8.04
交 換 金 額	19,943	-26.12	-15.31
不 渡 り 手 形 枚 数	24	-35.13	700.00
不 渡 り 手 形 金 額	12	-59.06	1,345.85

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で5,324枚、17.23%減少し、前月比でも2,236枚、8.04%減少している。また、交換金額においては前年同月比で7,052百万円、26.12%減少しており、前月比でも3,607百万円、15.31%減少している。なお、不渡手形は24枚、12百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、9件（前年同月7件、前月4件）、負債総額30億円（同30億円、同7億円）となっており、地区別では下越地区で5件（新潟市4件、佐渡市1件）、中越地区で1件（長岡市1件）、上越地区で3件（上越市1件、柏崎市2件）発生している。

業種別は、建設業が1件、製造業が2件、卸売業が2件、小売業が2件、サービス業が2件となっており、倒産原因別の状況については、販売不振が4件、放漫経営が1件、経営計画の失敗が1件、その他が3件となっている。倒産件数は、前年同月比で2件増加しており、負債額10億円以上の大型倒産が1件発生している。

県内企業の景況感は改善が続いているものの、足元の業績が本格的な回復にまでは至っていない。特に中小零細企業では景気回復の効果が業績に反映されるまでに時間がかかる傾向があり、今後の倒産動向について注視していく必要がある。